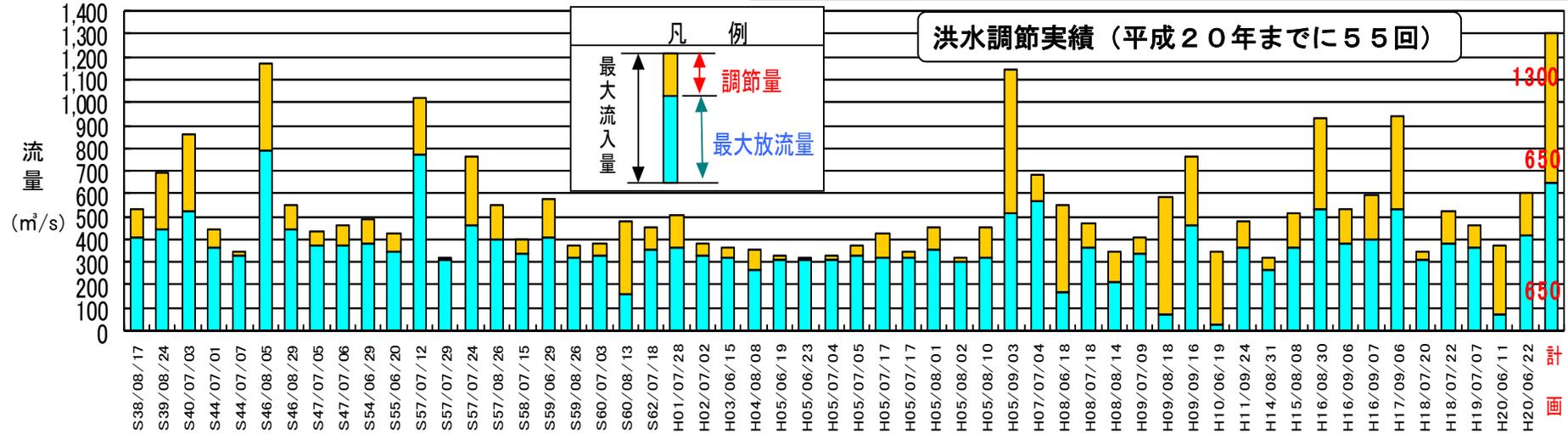


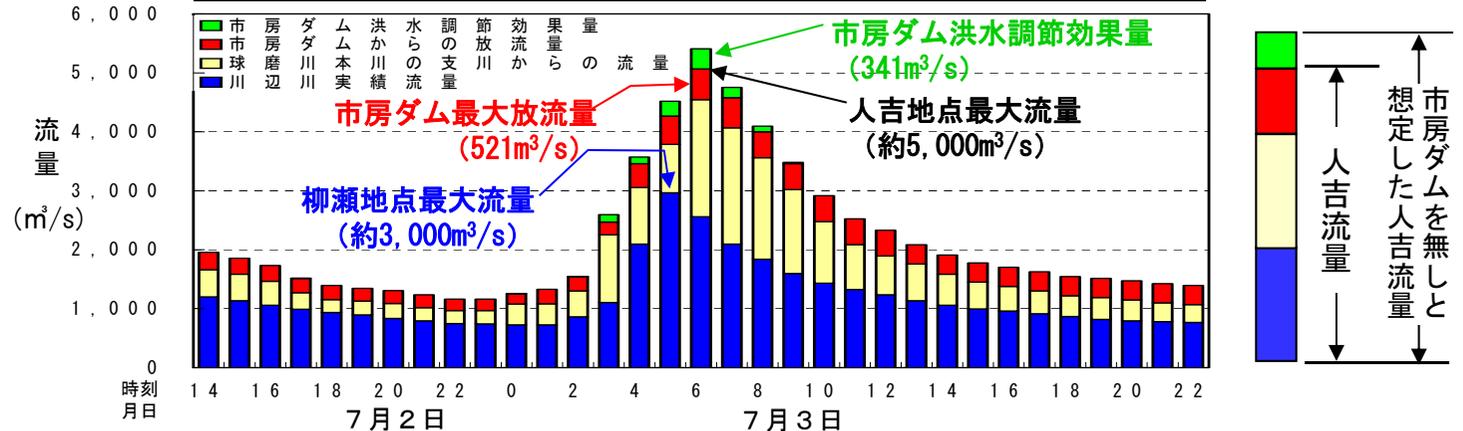
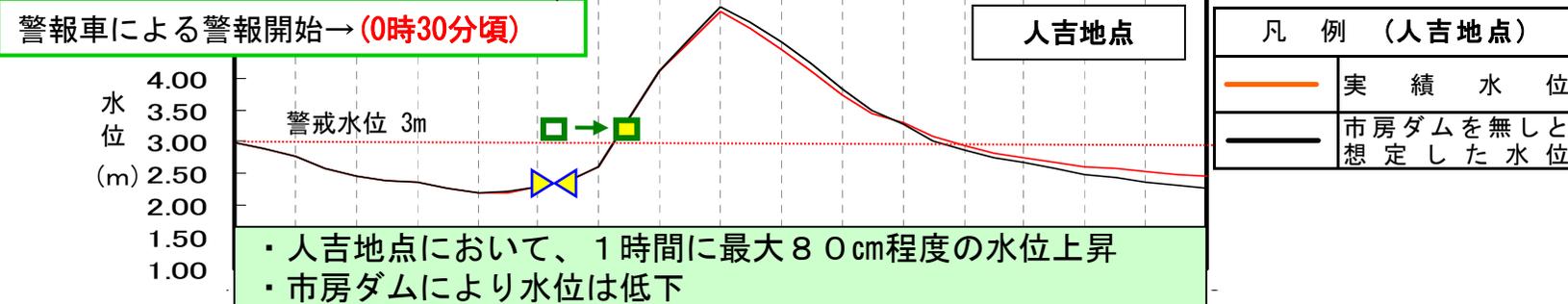
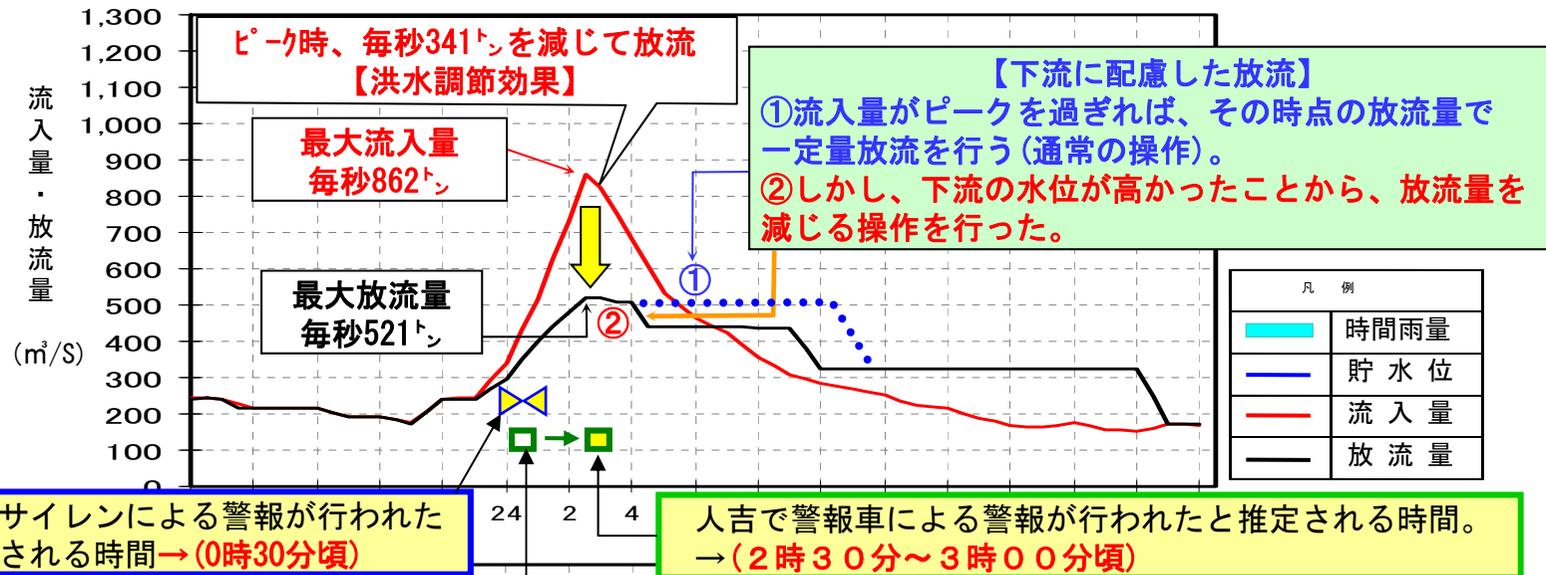
諸元・目的

ダムの形式	重力式コンクリートダム	有効貯水容量	35,100千m ³
堤高	78.5m	洪水調節容量	第1期 8,500千m ³ 第2期 18,300千m ³
集水面積	157.8km ²	堆砂容量	5,100千m ³
湛水面積	1.65km ²	かんがい容量	13,500千m ³
総貯水容量	40,200千m ³		

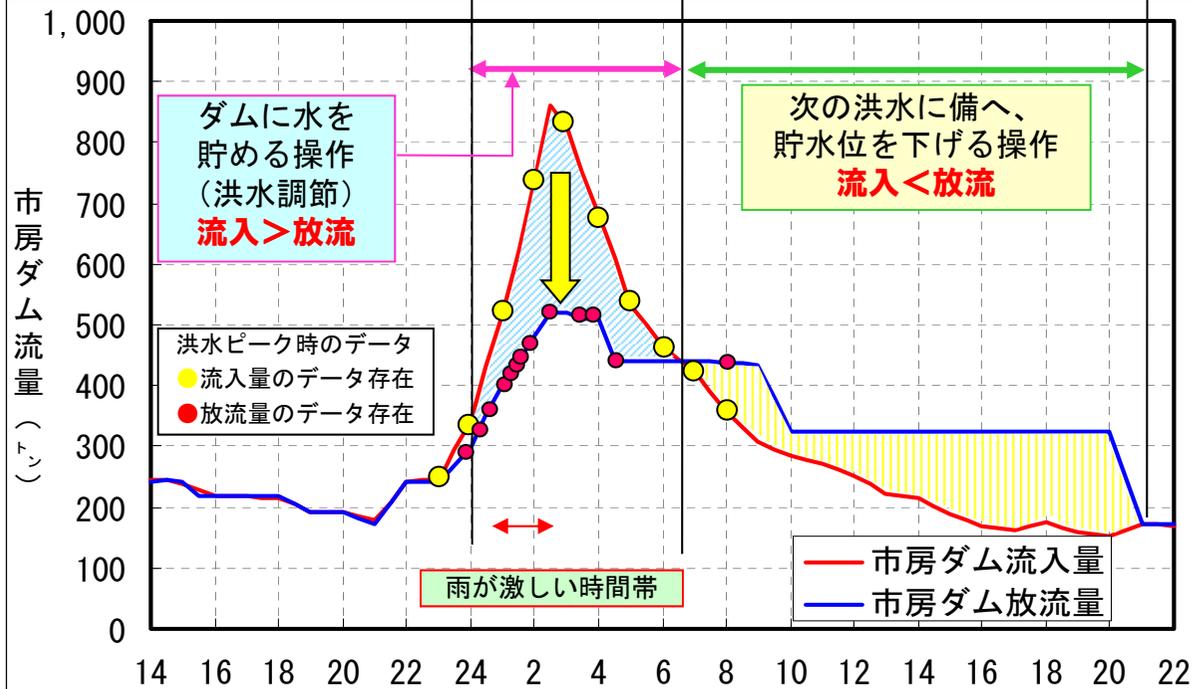
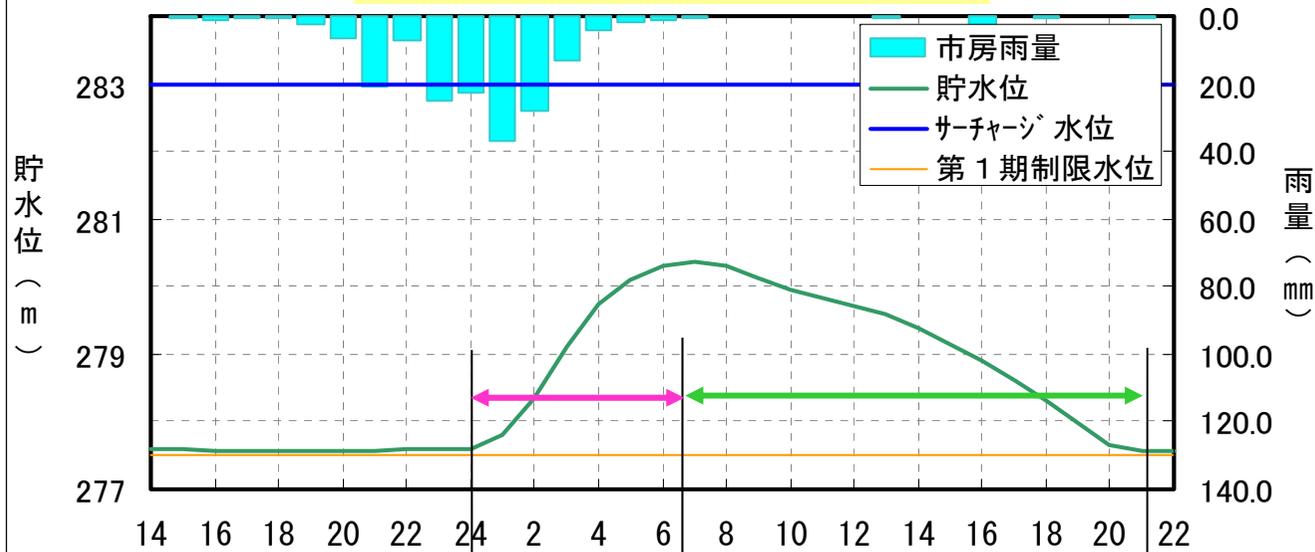
- 治水：市房ダム地点において、約650m³/sを調節
- 発電：年間発生電力51,300,000MWH
- 灌漑：球磨盆地南部の湯前町、多良木町、あさぎり町、錦町の約3,570haへ補給。

市房ダム洪水調節実績（昭和38年～平成20年）



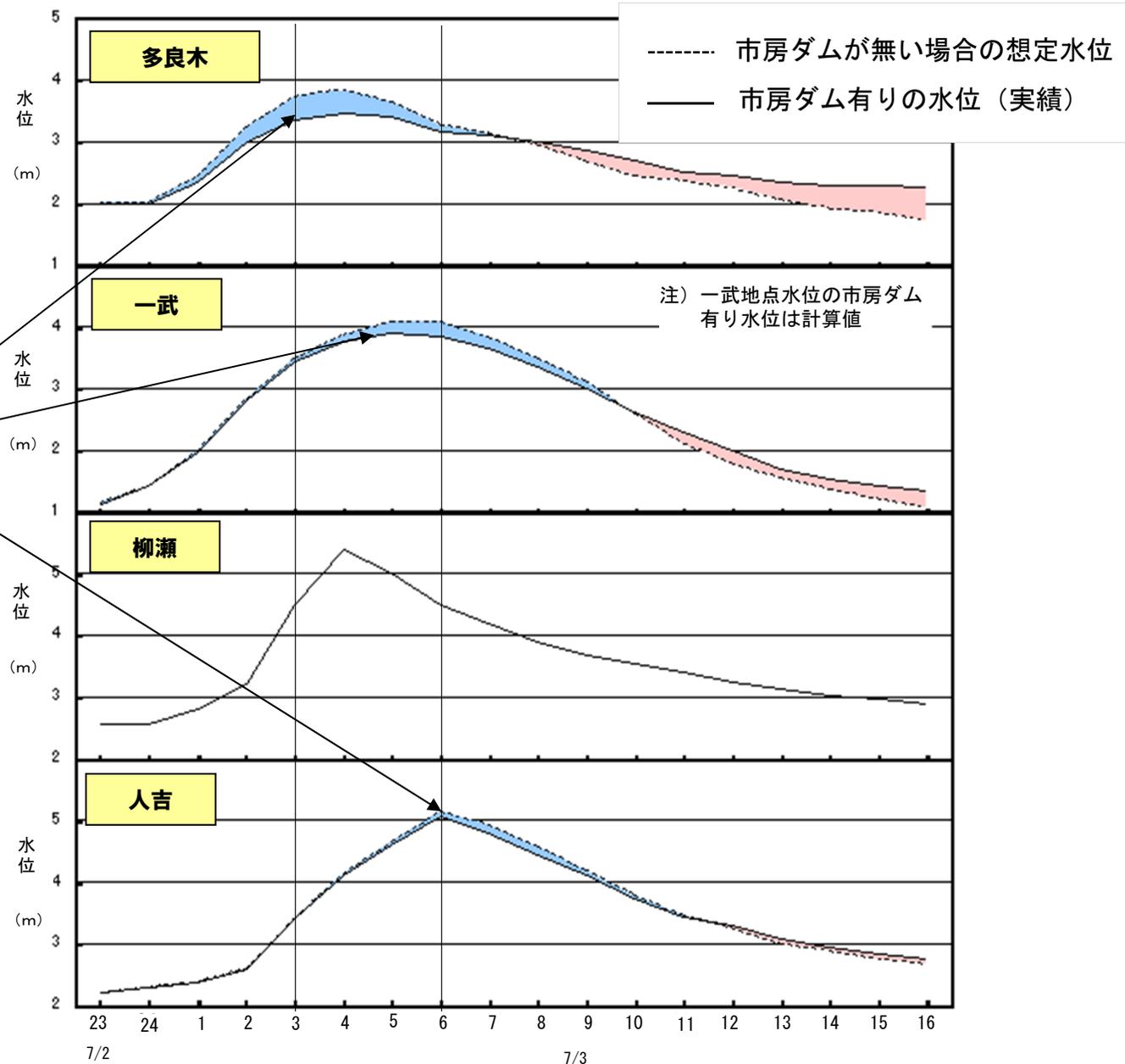


昭和40年7月2日～3日 市房ダム貯水位



昭和40年7月2日～3日市房ダム流入量と放流量

市房ダムの洪水調節により、球磨川本川では洪水ピーク付近の河道水位は低下しています。



市房ダムの洪水調節効果 (昭和40年7月洪水)